

農協と組合員をつなぐ広報誌

なかしゅんべつ



中春別保育園にて2月3日(月)、節分お楽しみ会が行われました。

組ごとに違ったデザインの鬼のお面をかぶり、「鬼は外、福は内！」楽しく豆まきをしていると赤鬼登場で、園児たちは蜘蛛の子を散らすように逃げました。



3月号

2020 Vol. 506

草地の植生、強害雑草対策の注意喚起

良質粗飼料生産利用対策委員会（原内修委員長）、良質生乳生産推進委員会（伊藤一吉委員長）主催、豊原・美原・中春別酪農振興会協賛による合同講習会が2月14日（金）、団地センタートレーニング室にて、参加者43人のもと行われました。

良質粗飼料生産利用対策委員会では草地の植生改善に向けて、強害雑草対策の注意喚起などを行ない、少しでも畑に目を向けてもらうよう活動を進めています。

す。今回の講習会では、「草地更新時期によるメリット・デメリットについて」と題し、根室農業改良普及センター小川晃生氏を講師に招き講演していただ



草地更新時期について説明する講師の小川晃生根室農業改良普及員



挨拶を述べる原内委員長

きました。

1、草地更新時期のメリット・デメリット

天候不順により草地更新時期の判断が難しい

草地更新の目的として主体草地の増加、雑草駆除を行い良質な草地づくりを行うために、更新時期による管理手法についてご講演いただきました。現在、更新時期（播種時期）について問われています。中春別での草地管理で直面している重要な課題として、牧草播種が1番草収穫後の夏場に集中しています。しかしな



講師の話に真剣に聞き入る参加者

が天候不順や施工能力の問題など、当年中に作業を終えることが困難な状況でもあります。一般的に作物の生理から見た最適な播種時期とは、雑草対策、発芽、生育生理から、春は4月下

旬から5月上旬、夏は8月上旬から8月中旬が最適です。夏播種のスケジュールとしては、除草剤散布（2回散布）の観点から、6月上旬頃に1番草収穫作業を終

えていることにより7月上旬に除草剤散布、中旬以降に播種床造成、8月下旬に除草剤散布・播種を終えることが理想とされます。夏播種

較的低いとされていますが、作業工程がきつく耕起前処理、播種床処理の除草剤2回散布は困難であり、作業の遅れにより播種が困難になるリスクもあります。



については1番草を確保でき、次年度も収穫が可能であり、雑草発生リスクも比

チモシー主体となる草地の場合は刈りっぱなしのまま放置すると、抑圧される

春播種のスケジューリングとしては、5月上旬に播種することが望ましく、前年より前倒しで作業しておけば、速やかに播種することができま

可能性も出てきます。春播種については夏場に十分な作業日程を取ること

播種が遅れた場合には、無理に播くと雑草が多発する可能性も出てくるため、無理に播くのではなく、播種床造成後60日を目的に、雑草が生え揃った頃にグリホサート系の除草剤を撒き、施肥・播種を行うことが奇麗な草地を作ることができます。

また、麦類(大麦、エン麦など)の同伴栽培についても、牧草の春播種時に同伴栽培を行うことで1番草の収量増加、雑草の発生抑制も抑えられるとされています。ただし、麦類播種後の覆土をしつかり行い、刈り遅れ、刈り取り後の予乾をしつかり行うことが必要となつてきます。エン麦同伴においては播種後の覆土の有無により定着率、収量改善効果、雑草抑制効果が大き

大きく変わった事例もあります。

地域一丸となり
施工時期の平準化を図る

近年の天候不順などやむを得ない事情により、草地更新時期の明確な適期についての判断が難しい状況

です。また、事業を活用しての草地整備改良も増えてきている中で、施工業者の負担も増えてきているのが現状です。地域一丸となり、施工時期の平準化を図り、より良質な草地づくりを目指していきましょう。



ミルカーについての基礎知識



ミルカーについての基礎知識を解説する講師の北海道オリオン株式会社 佐藤中標津営業所所長

良質生乳生産推進委員会は、搾乳に関わる上で欠かすことのできない「ミルカーについての基礎知識」を北海道オリオン株式会社・中標津営業所所長、佐藤氏を講師に招き講習をお願いしました。

良質な生乳を生産するための重要なポイントとして、「機械の要因と作業内容の2つが上げられる」講習をして頂きました。

1、搾乳機器の名称と役割について

まずは主な搾乳機器の名称と各箇所の役割について、パルセータライン（役割）パルセータを動作させるための真空を供給する、ミルクライン（役割）ミルク



挨拶を述べる伊藤委員長

クローへ真空を供給する）、レシーバージャー（役割）搾乳した牛乳を、ミルクラインを経てミルクポンプで送乳するまで溜めて置く）、サニタリートラップ（搾乳した牛乳が、直接真空ポンプに入らないようにする）、真空調整期（役割）設定真空度を一定に保つ）、真空計（役割）正常な真空度で搾乳・洗浄ができるか判断する）、真空発生装置（役割）真空を作る装置）、ミルクポンプ（役割）牛乳・洗浄水を送り出す）と全ての装置の役割が備わって正

常な搾乳作業が行われます。

2、ミルククローについて

ピークミルクフロー時の平均真空度35〜42 kPa（設定真空度の調整をする）。

ミルククロー内圧が高い時に①乳頭が充血する②乳頭が損傷するなどが起きます。逆にミルククロー内圧が低い時は①搾乳時間が長くなる②産乳量の低下③ライナスリップ④ユニット

の落下が発生しますので内圧が適正かどうかの点検は、定期的にメーカーへ依頼して下さい。なお、ライナー交換の頻度は最大でも3カ月ですのでご注意ください。



3、乳房炎の主な原因についての要因では

乳房炎の原因として、牛側の要因では

- 乳頭を搾乳直後や損傷時は乳頭口が開いている
- 遺伝的乳房・乳頭・乳頭口の形状
- 年齢・乳期・高齢・乾乳時・分娩直後に体細胞増加する
- 健康状態・免疫力・飼養

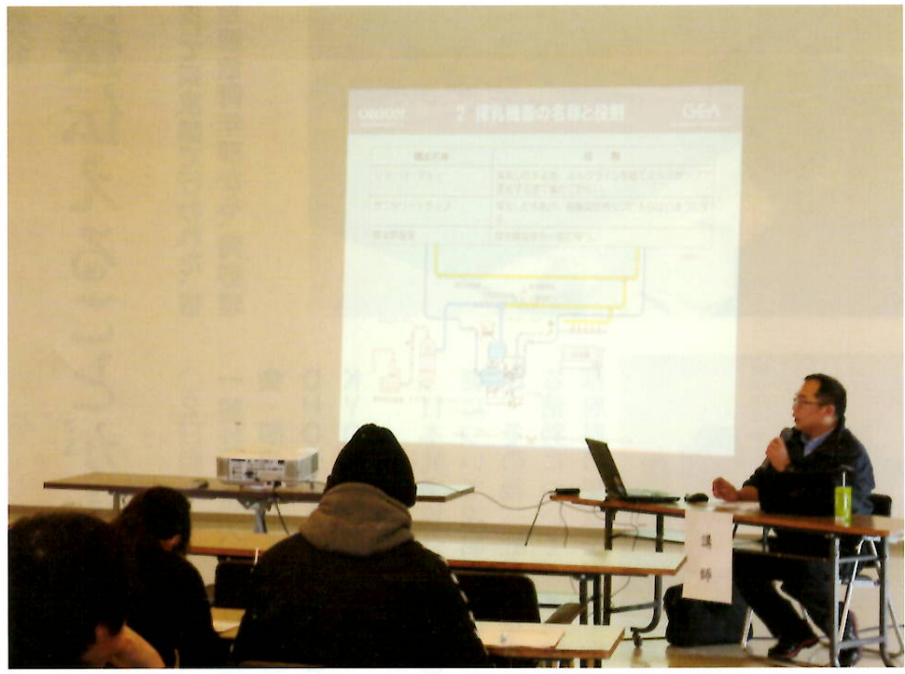
管理に依存

- 管理や環境要因の場合は細菌が増殖しやすい状態
- 牛床・通路などの汚れ・風通しが悪い場合
- 乳房が損傷しやすい状態
- 滑りやすい通路・牛舎内に危険物が多い
- 水・土壌・気候・手・搾乳機・清拭布の汚れ、不完全な乳頭清拭（消毒薬の不使用・多頭1布など）、ミルカーの落下・ドロップレッツ・過搾乳などが上げられます。

4、メーカーが推奨する正しい搾乳技術の10項目

①真空度の確認は目視で設定真空度になっているか確認。指針の上がる速度、停止時の下がる速度がポイント（エア漏れが疑われま

す）
 ②搾乳前準備はサンテックス（乳頭清拭タオル専用洗剤）で洗浄したタオルは細菌の付着させないよう乾燥させるか蓋付きの容器に保管する。
 ③プレディッピングは汚れを落とすやすくするためノ



ンリターntyートカップを使用し根元まで浸漬30秒ほど放置。
 ④前搾り各分房5回以上、ストリップカップを使用（牛床に乳を捨てない）。目的は（異常乳の診断）、（乳の通りを良くする）、（細胞・体細胞の排除）また、オキシトシンの分泌を促す事です。
 ⑤乳頭清拭の方法
 (1)サンテックスで洗浄したタオルを使用
 (2)1頭1布できれいな面を使用
 (3)乳頭側面・先端各4回

は必ず行いましょう。
 ⑥ユニット装着の方法
 乳房・乳頭が張った状態を確認（前搾りから概ね60〜90秒）ユニットからエアを入れないで、ねじらないように装着します。
 ⑦ユニットのアライメント方法
 ユニットのアライメントはユニットフックを使用。ミルクチューブを牛体にそって平行にする。
 ⑧離脱のタイミングの方法
 1ユニット全体で400ml以下、または1分房終了した時を目安に、真空を完全に遮断してから外す。
 ⑨ポストディッピングの方法
 伝染性細菌感染症の防止のため根元まで浸漬。
 ⑩搾乳終了後のユニット洗浄方法
 洗浄槽にセットする前に、流水でシートチューブ周りと一緒にユニットをブラシで洗浄する。
 乳質改善のため、今一度の「機械の点検と作業内容ご確認と見直し」をお願いします。

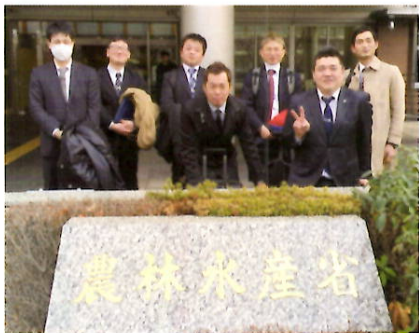
根室地区JA青年部幹部研修会

現場の声を直接伝えることが大事

1月15日(水)から1月17日(金)にかけて東京都で行われた、根室地区JA青年部幹部研修会に当農協青年部から、青野理事が参加しました。

○1日目 農水省との意見交換会

1部と2部に分けて家畜防疫関係、食育、担い手・労働関係、畜産クラスター事業、農地、飼料などについての意見交換をさせていただきました。特に担い手・労働関係とクラスター事業については多くの意見が出ました。今回初めての参加で緊張もありま



したが、穏やかな雰囲気をつくっていたいたので、自分の意見を伝えることが出来たと思います。

終了後は場所を移して親睦会を行い、お互いの仕事やプライベートなど、楽しくお話しすることが出来ました。

○2日目

一般社団法人日本乳業協会・研修、MILKLAND HOKKAIDO→TOKYO・視察

日本乳業協会では事業概要について説明していただき、その後、乳業界をめぐる情勢について、北海道と都府県の現状を交えて世界



にも目を向けた内容の意見交換をさせていただきました。午後からはMILKLAND HOKKAIDO→TOKYOに移動し、店内のカフェで食事を取りました。店内は明るく清潔感があり、家族連れや女性のお客が多かったです。料理はどれも牛乳をふんだんに使ったメニューで見た目も良く、とてもおいしかったです。2階にまたがる巨大な牛のオブジェもインパクトがありました。

○3日目 管内選出国會議員表敬訪問

衆議院第1議員会館へ移動し、衆議院議員・伊東良孝氏と鈴木貴子氏へ表敬訪問を行いました。都合がつかず直接ご本人にはお会い出来ませんでした。秘書の方々に忙しい中対応していただきました。

2泊3日と短い中での研修会でしたが、農水省の方々ははじめとする研修先の方々からの貴重な意見を聞くことができました。実際に意見交換を行って、現場の声を直接伝えることが大事だなと感じました。

また、管内盟友との親睦会や研修を通して、仕事や青年部活動について互いの考えや思いなどを語り合い、親睦も図れてとても充実した研修会となりました。

最後に研修を受け入れてくださった関係各位の皆様、本当にありがとうございました。

(青年部監事・青野大地)

青年部活動の活性化と地域貢献に向けて

2月4日(火)から6日(木)の期間において、江別市の北海道農業協同組合学校でJA青年部リーダー養成研修会が開催されました。

**JA組織全体の基礎知識習得
コミュニケーション能力向上の相互討議**

本研修では年齢26歳から36歳までの現部長、次期部長など、青年部役員が多く参加しており、今後の青年部活動をどのように盛り上げるかなど、しっかりと目的をもった方々が集まりました。



JA青年部リーダー養成研修会

講義の内容はJA青年部を含めたJA組織全体における、必要な基礎知識習得やリーダーシップを発揮させるための、コミュニケーション向上を目的とした相互討議(グループ討議)を行いました。



また、懇親会や休憩時間では仕事の悩みやプライベートな話など、同世代なら

ではの盛り上がりを見せ、良い交流を図れました。

養成研修会で刺激を受け、活動に対する意識が向上

今回の研修会を終えて、各地域でも事業参加者が減少し、青年部役員への負担が増加している傾向にあることが課題の一つであるとわかりました。私自信、これまで青年部活動に積極的に参加はしておりませんが、今回の研修において各地域の役員の方々の話を聞き、出来る範囲で青年部活動に対し、積極性を出していきたいと思いました。

全体を通して、普段の仕事では味わうことの出来ない、長時間の座学、相互討議など新鮮な体験が出来たと思います。また、各地



域の青年部員の姿に刺激を受け、青年部活動に対する意識が少し向上しました。研修で得た事を活かし、今後の青年部活動に取り組めます。
(青年部・大内由祐)

女性部 Young Women's Division

事業報告と計画案を話し合った後、 午後から可愛らしい作品づくり

女性部懇談会・プリザーブドフラワーアレンジメント作り

女性部では2月18日(火)に懇談会・プリザーブドフラワーアレンジメント作りを行いました。

今年度の

事業報告・活動

報告、次年度の計

画案などの話し合

いを行いました。

午後か

らのプリザーブドフラワーアレンジメント作りでは、4種類の中から好きな色を選んでから作成をし、作り慣れている人は周りにいる人にコツや、やり方を教え合いながら、時間内で作り終えるこ



とができました。硝子ドームの中に、ちよこんとアレンジが入っている可愛らしい作品が、たくさん出来上がり、参加者の皆さんは嬉しそうに家に持帰りました。



女性部の活動をピックアップ

助け合い、支え合い、 知恵を出し合い活動

女性部
趣味の会
まんじゅう
作り

たくさんのまんじゅうを お土産に持ち帰りました

女性部趣味の会では1月29日(水)にまんじゅう作りを行いました。

それぞれの材料を正確に量り、バターを加えて混ぜていきます。ここでポイントになるのが、バターがなるべく溶けないようにすること！部屋はストーブで少し暖かくするくらいで留めておき、手が冷たい人が材料を混ぜていきます。混ぜ終わったら生地であんを手早く包んでいき、オーブンで焼いたら美

味しいおいしいまんじゅうの完成です。今回はかぼちゃあん・しろあん・あんこを合計300個



作りました。しっとりホロホロの生地に甘いあんはととも相性が良く、皆さんは「こんなにもたくさんのお土産ができて嬉しいわ」と笑顔で解散となりました。



中春別営農サポート協議会（小湊均会長） 第18回通常総会が、2月10日（月）開催されました。

開会にあたり小湊会長より、「サポート協議会として労働力確保に努めているところでありますが、思うように結果を出せない状況であり、サポート協議会として新たに外国人技能実習生の取り扱いについて本総会に上程しますので、本日の総会についてよろしくお

願います」と挨拶がありました。続いて来賓を代表し、西川組合長と山崎酪対会長より挨拶を頂きました。

議事に入る前に報告事項として、協議会細則の改廃について

中春別サポート協議会第18回通常総会



開会の挨拶を述べる小湊会長

労働力確保に向け、新たな取り組みを

れ、議事へと移りました。

議案第1号「令和元年度事業報告及び収支決算について」、議案第2号「令和2年度事業計画（案）及び収支予算（案）及び収支予算（案）について」、議案第3号「賦課金の賦課及び徴収方法について」、議案第4号「外国人技能実習生



議長に選出された千葉悟さん

説明を行い、議事へと入りました。議長には、中春別地区・千葉悟さんが選出さ



西川組合長による挨拶

就業規則の制定及び協議会規約制定について、議案第5号「役員改選について」が提出され、全議案可決承認されました。

議案第4号「外国人技能実習生就業規則の制定及び協議会規約制定について」は、新たにを行うこととであり、議場からは活発な意見が出されました。

今後とも中春別営農サポート協議会は、会員皆様のゆとりある生活を目指し、労働力確保に取り組んでまいります。本年度も昨年同様、会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和2年度新役員について



は次の通りとなっております。

- 会長 小湊 均
- 副会長 川畑 秀晃
- 理事 高橋 学
- 理事 紫藤 晴美
- 理事 小林 美子
- 理事 佐々木 貴子
- 監事 広沼 力也
- 監事 坂本 正志

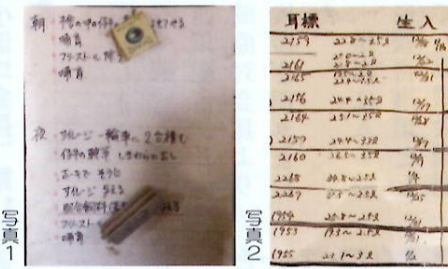
根室農業改良普及センター
営農対策情報

牧場内の見える化

農場内の情報の共有はうまくできていますか？4月になると年度が変わり、従業員の入れ替わりや農場に新しい人が来る機会も多くなると思います。今回は

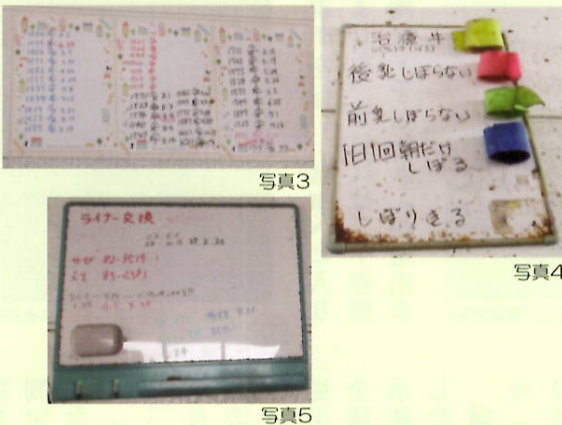
農場内での情報共有を上手にやっている事例を紹介し、伝達ミスなどが起こらないよう情報の整理、共有に取り組んでみませんか？

1. 飼養管理の場面



- ・掃除の仕方などの作業工程、飼料給与の具体的な方法。(写真1)
- ・個体ごとに誕生日とほ乳量を記録。(写真2)
- ・体調が悪い牛がいる場合は周りに分かるように書く。

2. 搾乳の場面



- ・個体ごとの治療や乳房炎の有無など。(写真3)
- ・搾乳できない乳房がある場合は分かるようにする。
- ・足バンドをつけている個体の情報。(写真4)
- ・ミルクタップの近くに乳房炎の有無が分かるようにする。
- ・ライナーなどの搾乳機器の交換時期をパーラの入り口など見やすい場所に貼る。(写真5)

3. 農場管理の場面



- ・大きめのカレンダーを使い、今後の予定を記載。(写真6)
- ・農場内の資材や建物の場所が分かるようにする。航空写真を活かして関係者や配送業者に伝わるようにする。

農場内のいろいろな場面での情報共有の工夫を紹介しました。今回、紹介した事例で共通しているポイントは、「よく見る場所に設置(事務所やパーラへの出入り口など)」と「具体的でわかりやすい内容」です。

紹介したような工夫は簡単に取り組むことができ、情報共有を円滑にします。ホワイトボードなども簡単に手に入るので、是非、取り組んでみてください！

生産性の高い牛づくりを目指して

中春別乳牛改良同志会 第32回定期総会

中標津町ウエディングプラザ寿宴において1月24日(金)、中春別乳牛改良同志会第32回定期総会が開催されました。

総会の開催を前に令和元年度新規エクセレント獲得並びに特別賞授賞式が行われ、エクセレントを獲得された橋本幸二さん、浮川優さん所有の牛が表彰されました。



議長には佐々木靖裕さんが務められました



特別表彰を受けた橋本幸二さん

した。続いて特別賞として「国内初自家生産8代エクセレント」を達成された橋本幸二さんが表彰され、それぞれ記念品の贈呈が行われました。総会の開催にあたり寺澤佳吾会長より1年を振り返り、新年度に向けた挨拶が述べられました。引き続き農協を代表して西川組合長、来賓の方々を代表して佐々木俊輔根室生産連生産振興課生産企画係より、ご祝辞をいただきました。

議長には中春別地区の佐々木靖裕さんが選出され、議案第1号から議案4号まで可決承認されました。

昨年度の各事業として乳牛改良技術のさらなる向上を目指し、「視察研修会」、「講習会」などを開催

し、新たな知見となる情報や技術を学ぶことができました。各種ショウや共進会においても中春別ホルスタインが活躍し、日頃の乳牛改良の成果としても5頭が新規エクセレントを獲得し、累計240頭となりました。本年度は5年に1度開催される全日本ホルスタイン共進会の年でもあり、1頭でも多く全日本共進会へ駒



盛會裏に終了することができました

を進められたらと思います。日々の酪農経営においてもさらに強く、安定的な経営を図るために長命連産に優れ、能力と体型のバランスが取れた生産性の高い改良を進めるための活動を展開していきます。総会終了後、懇親会が行われ、会員及び関係機関の方々との親睦が続ぎ盛会のうちに終了することができました。

ワクワクも、安心も、ついてくる!

2020

JAマイカーローン キャンペーン

2020.2.3(月) ▶ 7.31(金)

ポイントの
お返し



抽選で100名様に

ホクレンSSポイント(※)
10,000ポイント

または

カタログギフト「ホクレンセレクト」
ライラックコース

8,800円(税込)

プレゼント!

※ホクレンSSポイント店舗で燃料油購入しごとに1ポイント提供。貯まったポイントは、1ポイント1円として、全店のホクレンSSで利用可能です(ただし、一部店舗・JAでポイント対応ができない場合がございます。詳しくは、ホクレンSSのHPでご確認ください。)

応募条件

キャンペーン期間中に、借入金額50万円以上、借入期間6か月以上のマイカーローンをお借入れされ、かつ個人ネットバンクをお申込みまたはご契約のある方。

応募方法

JA窓口で配布する応募用紙にてご応募ください。

懸賞品

抽選で100名様に、「ホクレンSSポイント10,000ポイント(10,000円分)」または「カタログギフト「ホクレンセレクト」ライラックコース(税込8,800円)」をプレゼント。

抽選

2020年2月～4月にお借入の方は5月に、5月～7月にお借入の方は8月に抽選を行います(各期間の当選者数は50名様となります)。

当選発表

当選の案内をもって発表に代させていただきます。

自動車の購入はもちろん車検の費用など、カーライフに関するさまざまな用途にJAマイカーローンを利用できます。

ご利用いただける方/○お借入時の年齢が満18歳以上、最終返済時の年齢が満80歳未満の方○継続して安定した収入のある方○保証費用の保証が受けられる方

- 北海道農業信用基金協会保証の場合
-組合員の方(組合員にご加入いただくためには出資金が必要となります)
- 信用保証会社保証の場合
-お借入金額が500万円超の場合は組合員にご加入いただきます。
- その他JAが定める条件を満たしている方

お貸しもち/○自動車等の購入資金(新車・中古車・自動車・軽自動車)
○自動車購入時の登録費用、車検、整備の費用○運転免許の取得費用、車庫建設費用(100万円以内)○JA以外のマイカー資金の借換
お借入金額/1,000万円以内(所要金額の範囲内)
お借入期間/10年以内

お借入金利/変動金利型
ご返済方法/元利均等返済(ボーナス併用可)
担保/保証/担保不要-JA所定の保証機関の保証が必要となります。

※マイカーローンの詳しい内容につきましては、JA店舗に説明書をご用意しております。

※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合がございます。

※マイカーローンをお借入中に、最上返済を行う場合や返済条件を変更する場合は、別途所定の手数料が必要となる場合がございます。詳しくは、JA窓口にお問い合わせください。

キャンペーン金利

金利情報 年 1.4%(変動)※2020年2月現在

お問い合わせ先

JA 中春別 金融共済課 融資係
TEL(0153)76-2314
担当 河合・藤原

JA春の新車フェア 2020年1月18(水)～3月31(火) 契約分まで

4メーカー新車全車種対象! トヨタ、スズキ、スバル、三菱

新車ご成約で、もれなく記念品プレゼント!
詳しくはお近くのJAまで
(業務用車種は対象外となります。ご了承ください。)



クルマスタなら、保障もサービスも、安心・充実!
必要な保障を無駄なくそろえた自動車共済です。



24時間
365日
安心サポート
JA共済車検受付センター ☎0120-258-931
JA共済サポートセンター ☎0120-063-931



おトクな金利を
今すぐ
チェック!



どなたでもお気軽にご相談ください。

福は外!!
鬼は外!!

鬼さんとの約束 しっかり守ります



中春別保育園にて「節分お楽しみ会」が2月3日月行われました。



先生が園児たちに絵本「おなかのなかにおながい」の読み聞かせをし、「お腹の中にいる、いじわる鬼や泣き虫な鬼、好き嫌い鬼を、豆まきをして、外に追い出しましょう」と、説明をされた後、「鬼は外、福は内！」と言いつつ豆を撒き、園児たちは豆を楽しそうに拾います。すると、園内に太鼓の音が鳴り響き、

赤鬼が登場、園児たちの表情が一変し、逃げたり、泣いたり、先生にしがみついたり Paniック状態。必死に豆を鬼に投げて頑張る園児も、鬼の迫力に泣いてしまします。鬼が、「親や先生の言う事をちゃんと聞いていますか？」と質問すると、「聞いています！」と声を揃えて答え、「お友達と仲良く遊ぶこと」「好き嫌いをせずに食べる事」など鬼と約束をしました。「約束守らないと、また、来るからね！」という鬼に、「約束守るので、もう来ないでください！」と誓い、節分お楽しみ会を締めくくりました。

保育園を訪れると園児たちが集まり、今日のために作ったお面と豆入れの紹介を始めました。ひよこ・ことり組は、体の半分くらい大きな迫力ある鬼のお面。はな組は、卵のバックを使った、珍しくてカラフルなお面を作りました。年長のお面は、紙皿を使ったお面。ほし組は、紙皿を使ったお面で、「絵の具で色を塗るのが難しかったけど、楽しかったです」と発表しました。



赤鬼が登場、園児たちの表情が一変し、逃げたり、泣いたり、先生にしがみついたり Paniック状態。必死に豆を鬼に投げて頑張る園児も、鬼の迫力に泣いてしまします。鬼が、「親や先生の言う事をちゃんと聞いていますか？」と質問すると、「聞いています！」と声を揃えて答え、「お友達と仲良く遊ぶこと」「好き嫌いをせずに食べる事」など鬼と約束をしました。「約束守らないと、また、来るからね！」という鬼に、「約束守るので、もう来ないでください！」と誓い、節分お楽しみ会を締めくくりました。

赤鬼が登場、園児たちの表情が一変し、逃げたり、泣いたり、先生にしがみついたり Paniック状態。必死に豆を鬼に投げて頑張る園児も、鬼の迫力に泣いてしまします。鬼が、「親や先生の言う事をちゃんと聞いていますか？」と質問すると、「聞いています！」と声を揃えて答え、「お友達と仲良く遊ぶこと」「好き嫌いをせずに食べる事」など鬼と約束をしました。「約束守らないと、また、来るからね！」という鬼に、「約束守るので、もう来ないでください！」と誓い、節分お楽しみ会を締めくくりました。



根釧酪農郷からの出発

2020年度
学生募集
(2次)

北海道別海高等学校 農業特別専攻科募集案内

入試日程等(1次)募集人員20人 修業年限2年間

・願書受付

令和2年1月8日(水)から
令和2年1月21日(火)正午まで

・検査日

令和2年2月4日(火)

・合格発表

令和2年2月12日(水)

・検査内容

作文および面接

・願書配布

令和元年11月29日(金)

年度始め納入費

・入学金や授業料など

45,550円

・後援会・学友会費など

41,550円

合計87,100円

※平成30年度入学生初年度

農業特別専攻科の特色

- ★18歳以上の酪農を目指す方が、自家や実習先、勤務先で就労・実習を行いながら学校で酪農の理論を学ぶ2年制の過程です。
- ★牧草の収穫時期には、農場【自宅・実習先】で実践を春・秋・冬には学校に通学して理論を学びます。

実習先農家条件(例)

- ★3食あり、家賃なし、交通費なし、実習代(7~8万程度)支給。
- ★親方家族と生活をシェアするか、実習生用の間借りなど、ご相談に応じます。
- ★正規従業員として法人や農場で働きながら通学可能。

H30年度卒 別海町中春別酪農従業員
石黒 瑞歩さん(函館市出身)



私は非農家出身ですが、道内の農業高校で牛が好きになり、高校卒業後、将来酪農の仕事をしたと思い専攻科に入学しました。実習先や専攻科で学んだ知識を生かしながら、新しい職場でも頑張っています。また、専攻科に入学すると、同じ酪農を目指す一生の仲間が出来ますよ!



・海外研修(ニュージーランド)が履修出来ません(2年次希望者)。

・農業次世代人材投資資金(旧・青年就農給付金)(準備型)制度対象校です(要審査)。

説明会参加・資料請求等・お問い合わせ

別海高校農業特別専攻科まで

〒086-0214 北海道野付郡別海町別海緑町70-1
FAX.0153-75-2263 Tel.0153-75-2053
URL. <http://bekkai.hokkaido-c.ed.jp>
Email. bekkai-z4@hokkaido-c.ed.jp

●【酪農経営科】活動内容を報告

1月24日(金)本校体育館にて、農業クラブの北海道実績発表大会に出場した4発表と、海外研修の1発表を、全校生徒の前で発表しました。この取り組みは、酪農経営科の活動内容を普通科の生徒にも知ってもらうためにはじめたものです。普段は接することが少ない普通科生徒も、酪農経営科生徒のプロジェクト発表を、熱心に聞いていました。



全校生徒の前での発表



別海中央中学校での発表

また、2月12日(水)には海外研修の報告と研修に向けてのアドバイスを、別海中央中学校にて中学3年生を対象に実施しました。酪農経営科の研修システムや海外研修の様子、また、海外に出て学ぶことのメリットなどを伝えることができ、活動内容を広く紹介する良い機会となりました。

【酪農経営科】次年度の専門分会班

酪農経営科では、次年度に向けたプロジェクトチームがそれぞれ計画立案や、各関係機関との連絡調整などの活動を始めています。課題研究の授業を中心に、校内にとどまらず、地域関係機関や農家などと連携してプロジェクト活動を進めていきます。次年度の専門分会班は以下のとおりです

飼料作物班

地域資源を活用した飼料作物栽培や酪農の収益性を高める飼料作物栽培、また、飼料の利用性を高める研究開発などを行います。

乳製品加工班

6次産業化を後押しする製品開発や地域とのコラボによる魅力ある食の創造を行います。また、別海酪農の魅力発信を積極的に行います。

資源循環班

地域バイオマス資源の有効活用に関するプロジェクトを行います。効果的な糞尿処理を追求していきます。豊かな地域環境の創造や保全に関する取り組みをおこなっていきます。

動物バイオ班

乳牛の体外受精や受精卵に関する研究をおこないます。動物バイオテクノロジーの技術をとおして、地域酪農の発展に貢献していきます。

酪農経営科では次年度も引き続き各班の具体的な活動紹介をさせていただきます。

●【専攻科】学友会年度末総会

1月21日(水)に学友会年度末総会を実施しました。今年度の事業について反省や予算執行についての議案が中心でしたが、全て全会一致で承認されました。また、次年度の役員についても積極的な立候補の結果全会一致で承認され次のように決定しました。今後の活躍に期待致します。



学友会年度末総会の様子

会 長 浅田 琉馬 (別海)
副 会 長 齋藤 涼太 (浜中)
理事兼監査 升谷 茂暉 (浜中)

●【専攻科】第3回酪農技術現地研修会

1月23日(木)専攻科ゼミ室において第3回酪農技術現地研修会を実施しました。午前・午後共に有限会社吉田ハウス代表取締役・吉田史郎様より



研修会での様子

午前部の部「未来ある酪農経営～親から引き継ぎ経営」、午後部の部「未来ある酪農経営～世界を見つめて経営」と題して講演して頂きました。午前は、自らが経営者となり親から経営を引き継ぐ時の諸経費や納税の仕組みについて、午後は世界を見据えた経営を行うためには何に注目すべきかを詳しくご講演していただきました。学生は、今後経営していくにあたり興味深い内容であったので、メモを取りながら質問している姿がありました。

●【専攻科】加工実習

2月12日(水)、14日(金)に加工実習を行いました。12日はべつかい乳業興社にて、ストリングチーズをはじめ乳加工品の製造を行いました。



加工実習の様子

身近な存在である乳加工品の製造方法について詳しく説明していただき、自家牧場でも直ぐに製造できる事を学び、各牧場の生乳ではどのような味の違いがあるのか、興味を持った学生もいました。14日のパン製造では生地段階から数種類の菓子パンを焼き上げ、本格的なものを作る事が出来ました。できあがる焼きたてパンを試食した学生からは、「市販のパンの製造方法を知る事ができ、できたての温かいパンに感動しました」との感想がありました。

新型コロナウイルス感染症対策のお知らせ

これまでに判明している感染経路は、咳やくしゃみなどの飛沫感染と接触感染が主体です。空気感染は起きていないと考えています。

風邪や発熱などの軽い症状が出た場合には、外出をせず、自宅で療養してください。

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」、「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

- 発熱などの風邪症状がみられる時は、学校や会社を休み外出を控えてください。
- 発熱などの風邪症状がみられたら、毎日、体温を測定して記録してください。

新型コロナウイルスの相談・受診の目安

- 37.5度以上の発熱や風邪の症状があるとき
→4日以上続いたら相談を（高齢者や基礎疾患のある人、妊婦の人は2日以上で相談をしてください）。
- 強いだるさや息苦しさがある人
→すぐに相談を

新型コロナウイルスの感染が疑われる人向けの相談窓口は

- 中標津保健所 電話 (0153)72-2168
午前8時45分～午後5時30分(平日)
時間外、土日祝日は道地域保健課へお問い合わせください。
- 道地域保健課 電話 (011) 204-5020
午後5時30分～午後9時(平日)
午前9時～午後9時(土日祝日)

※人混みを避け、外出する時は、感染防止対策をお願いします。

①手洗い 正しい手の洗い方

手洗いの前に ・爪は短く切っておきましょう ・時計や指輪は外しておきましょう

1



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのぼすようにこすります。

3



指先・爪の間を念入りにこすります。

4



指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗いします。

6



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で洗い、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

6年間の思い出をランドセルにつめて

今月は篠田照美さん

3月に長女が小学校を卒業して、4月には我が家の末っ子長男が入学し、新1年生になります。

毎年1番草の時期に岐阜県から祖父母が手伝いに来てくれていて、その時にランドセルを子供たちと一緒に選んでいます。

「長女は即決でピンクを選び、次女は悩んだ末に、長女のランドセルより倍の値段のものを選びました。そして長男は選ぶよりも遊びたい気持ちが



強く、私が一番シンプルなランドセルを選びました」。卒業する長女は、6年間飽きずにランドセルを使ってきて、感謝しています。

これから、新生活になり不安もあると思いますが、子どもたちには、たくさんの思い出をつくってほしいです。

皆さんの投稿をお待ちしております。ちょっとしたことでも載せてみたいと思うものがありましたら、お気軽に営農振興課・原内まで連絡ください。



待合室を彩る 北海道の自然



金融共済課待合室にて、「写友北風」の写真を展示しています。南澤さん「ヤウシュベツの夕景」、小林亮平さん「根室市明治公園の星空」、兼松幸裕さん「熊が鮭を捕る一瞬」など、それぞれ個性あふれる3点を展示しています。

農協にお立ち寄りの際は、是非ご覧になってください。

JAグループ通信

JA北海道中央会



JAグループ北海道は北海道コンサドーレ札幌の選手やサポーターに、農業と食について考えてもらうことを目的として、「コンサ・土・農園(コンサ・ド・ファーム)」を開園しています。収穫した「トウモロコシ」や「馬鈴しょ」は、コンサドーレのホームゲーム時にチャリティー販売を行い、その収益によりサッカーボールを購入し、道内の児童養護施設に寄贈しています。

今年度の募金額は174,916円となり、道内24カ所の児童養護施設に48個のサッカーボールを贈呈することができました。この取り組みは平成21年

より実施しており、サッカーボールの累計贈呈数は今年度で約500個となっております。1月30日に道内の児童養護施設を代表して札幌市内の養護園で贈呈式を行い、JAグループ北海道より、JA北海道中央会の飛田会長、北海道コンサドーレ札幌より河合C.R.Cとドーレくんがサッカーボールを贈呈しました。



JA北海道信連



1月22日、旭川市内で「JAバンク北海道農業経営セミナー」を開催しました。北海道農業の未来に向けた農業経営者の「経営力向上」をテーマに講演が行われ、全道各地の農業経営者などが参加されました。講演では、農福連携・農福一体の取り組みや、地域ぐるみのブランド戦略などの事例について各講演者から説明がありました。講演後、交流会も催し、農業経営者間の情報交換及び連携強化を図りました。



JA共済連北海道



JA共済では、「こども共済」資料請求キャンペーンを実施しております。JA共済ホームページから「こども共済」の資料をご請求いただいた方に、『JA共済オリジナル アンパンマンはらまき』をプレゼントしております。キャンペーンは令和2年3月27日(金)まで、先着60,000名様限定となっております。この機会にJA共済のホームページにアクセスいただけますようお待ちしております！

○JA共済HPアドレス

<https://www.ja-kyosai.or.jp/>



ホクレン



冬至シーズンの道産かぼちゃ供給に向けて、ホクレンが商品化した銘柄「りょうおもい」を使った煮付けとあんこを組み合わせた総菜「冬至かぼちゃ」をセイコーマートが新規開発し、昨年12月に道内と茨城県に展開する全店で、冬至前後の期間限定での試験販売をしました。

「りょうおもい」は、ホクレンが品種選定、貯蔵技術の研究を進め、生産者・消費者双方の「思い」として命名し、ホクホク感と甘味のバランスのとれた、おいしいかぼちゃです。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。



JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



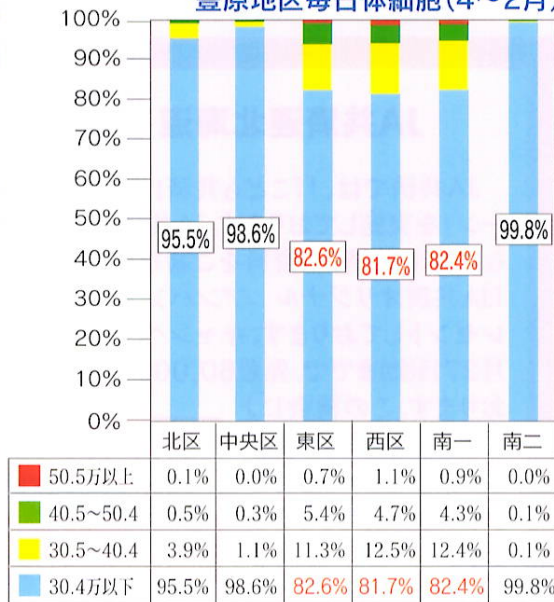
生乳汚染事故を無くそう！

- **抗菌性物質**混入事故……………JA中春別発生件数 **1**件 管内合計では**10**件です。
(ストレージタンク汚染)
- 生菌による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異物混入、加水、**血乳**による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では**1**件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

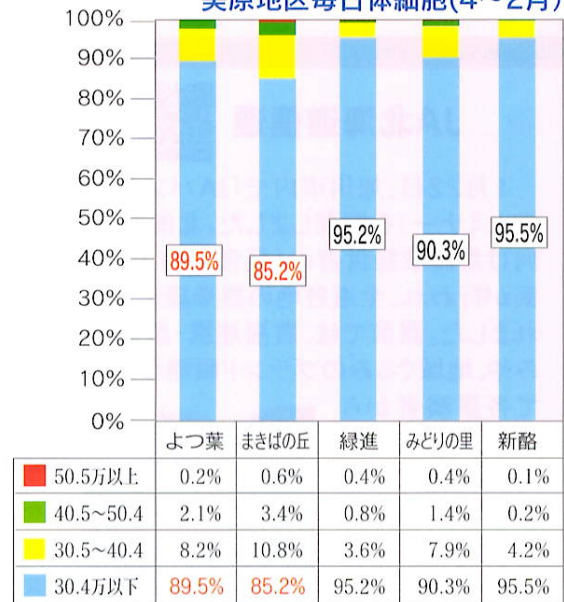
安全な生乳生産のために 連絡・確認・ミルクドクターを!!

良質生乳生産推進委員会からの標語

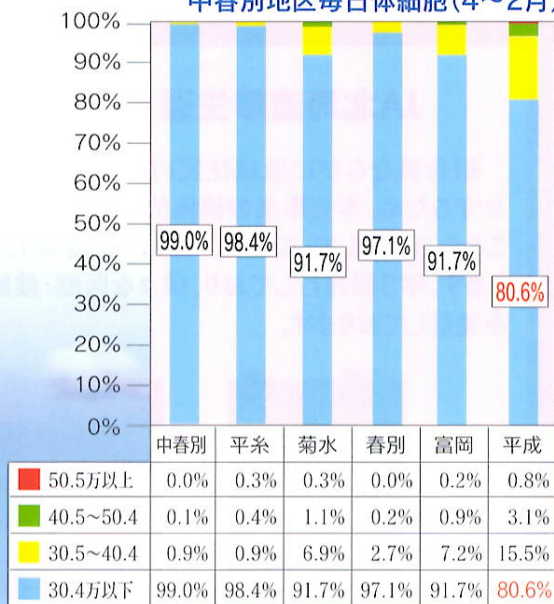
豊原地区毎日々体細胞(4~2月)



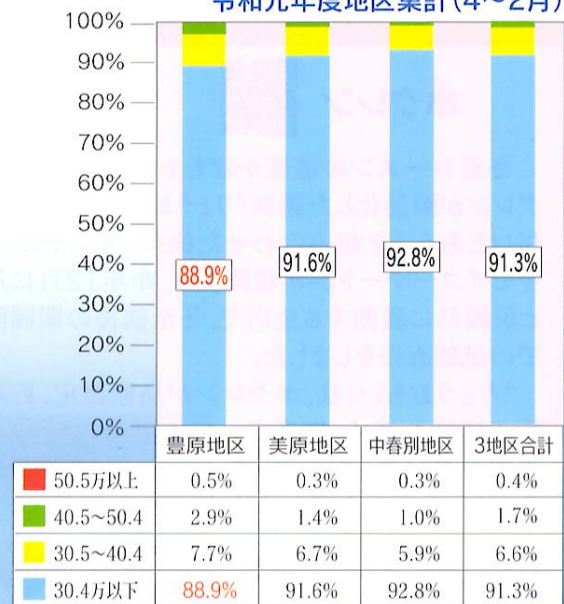
美原地区毎日々体細胞(4~2月)



中春別地区毎日々体細胞(4~2月)



令和元年度地区集計(4~2月)



第13回 理事会の動き

令和2年2月26日(水)

報告事項

1. 組合員の脱退について
2. 令和元年度1月末見通しについて
3. 令和元年度自己査定12月末仮査定結果について
4. 実地棚卸及び棚卸資産再評価要領の一部改正について
5. 子会社における固定資産取得状況について
6. 令和元年度決算棚卸実査について
7. リース契約について
8. 令和元年度1月末営農関連実績について

議案

1. 令和2年度理事報酬額の諮問(案)について
2. 北海道常例検査に伴う指摘事項改善状況等の回答について
3. 令和2年度内部監査実施計画について
4. 信用事業規程の一部改正について
5. 財務管理規程の一部改正について
6. 役員責任調査委員会設置要領の一部改正について
7. コンプライアンス・マニュアルの一部改正について
8. 令和2営農年度クミカン暫定取引について
9. 衛星画像を用いた植生診断マップの作成について

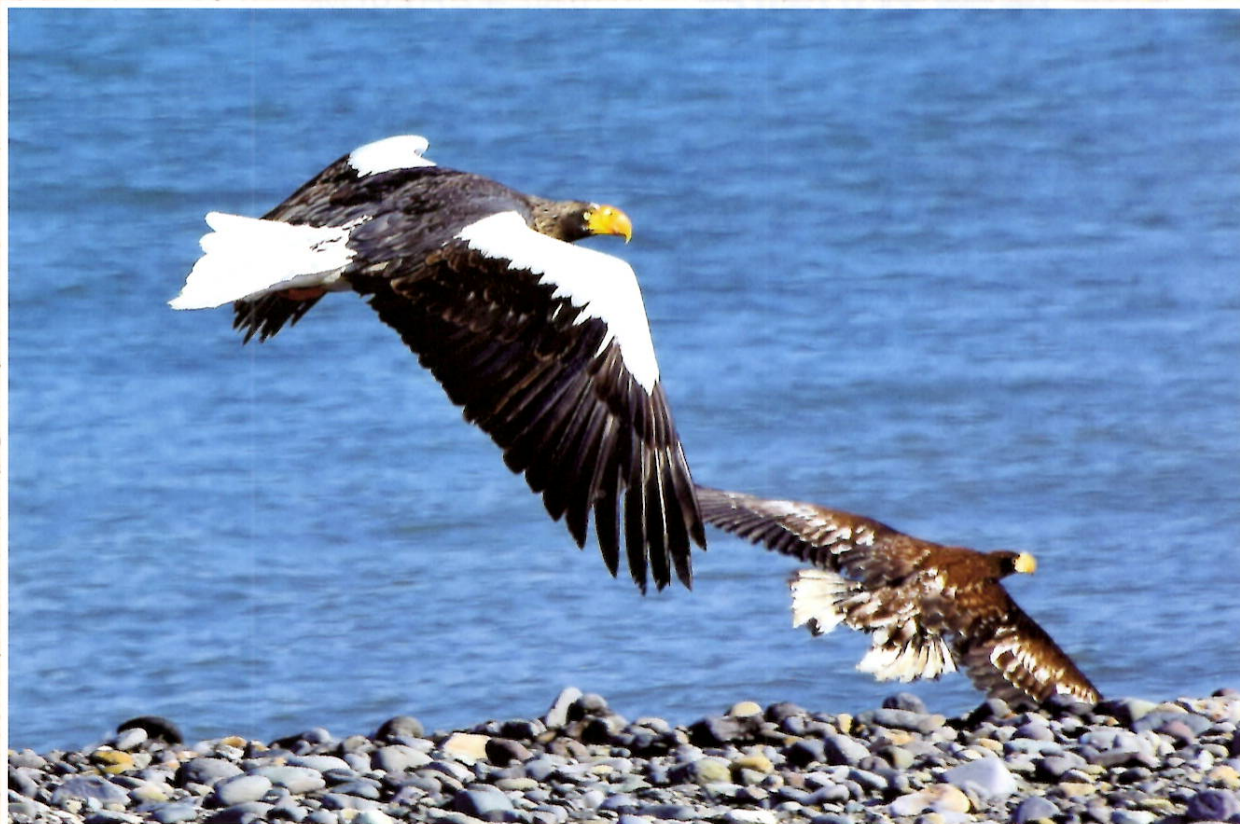
1月 乳質乳価一覧表

(単位:円/)

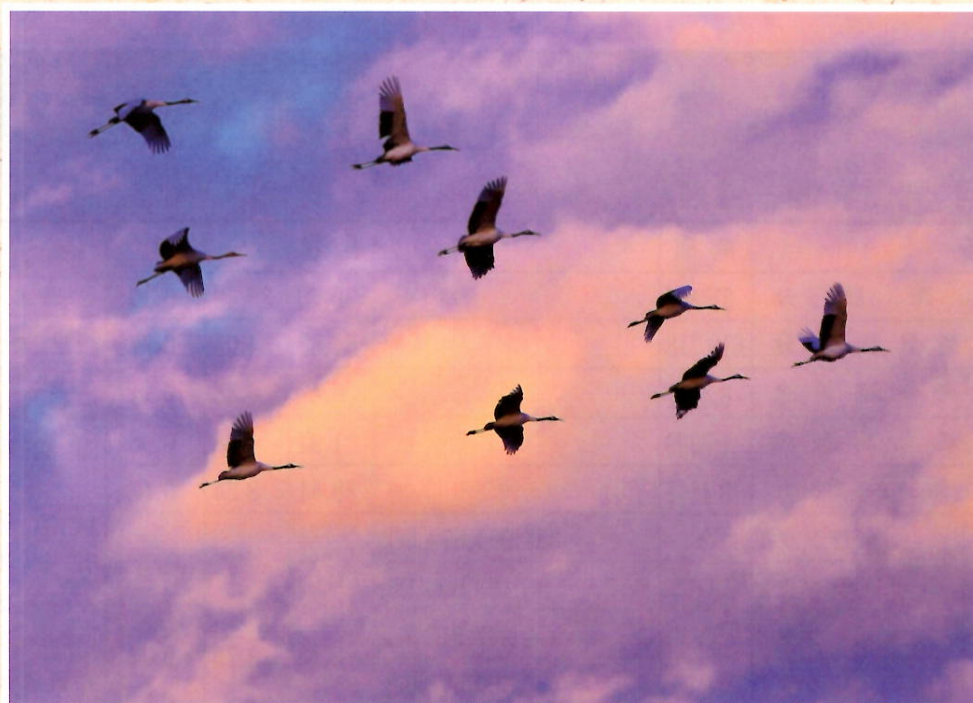
1月分乳代支払単価

				単 価	支 払 額	前 年 期	差	項 目	単価(円)/(kg) %
乳 脂 肪 分				976.677	39.70	39.40	0.30	乳 脂 肪 分 ①	39円70銭
無 脂 乳 固 形 分				619.718	54.83	54.06	0.77	無 脂 乳 固 形 分 ②	54円83銭
生 産 者 補 給 金				6.4742	6.47	6.36	0.11	生 産 者 補 給 金 ③	6円47銭
集 送 乳 調 整 金				1.9399	1.94	1.88	0.06	集 送 乳 調 整 金 ④	1円94銭
補 給 金 合 計				8.4141	8.41	8.24	0.17	脂 肪 率	全 道 4.06%
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1	2	324,944,874.5kg	3.73	3.75	-0.02	農 協	4.13%
		ランク2	0	8,123,890.1kg				無 脂 固 形 分 率	全 道 8.85%
		ランク3	-3	247,312.3kg				農 協	8.78%
	体細胞数	ランク1	2	290,499,577.0kg				成 分 乳 価	全 道 102円94銭
		ランク2	1	22,689,082.6kg				①+②+③+④-⑤	農 協 103円19銭
		ランク3	-2	4,092,618.6kg				乳 質 乳 価	全 道 3円73銭
合 計					106.67	105.45	1.22	⑥	農 協 3円70銭
								乳 代 合 計	全 道 106円67銭
								農 協	107円89銭
								⑤+⑥	差 異 0円22銭

組合員の広場



作品名「大鷲の親子」南澤三郎さん



作品名「夕空に飛ぶ」南澤三郎さん

今月号の組合員の広場は「写友 北風」の作品を掲載いたしました。
組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。
営農振興課・原内までお気軽にご連絡ください。